

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果（抜粋）

（2008年3月調査）

2008年4月

株式会社 日通総合研究所

ホームページはこちら
<http://www.nittsu-soken.co.jp>

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2008年1～3月の実績と2008年4～6月の見通しを3月下旬時点でうかがったものであり、1,121社からご協力をいただき、回答率は44.8%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

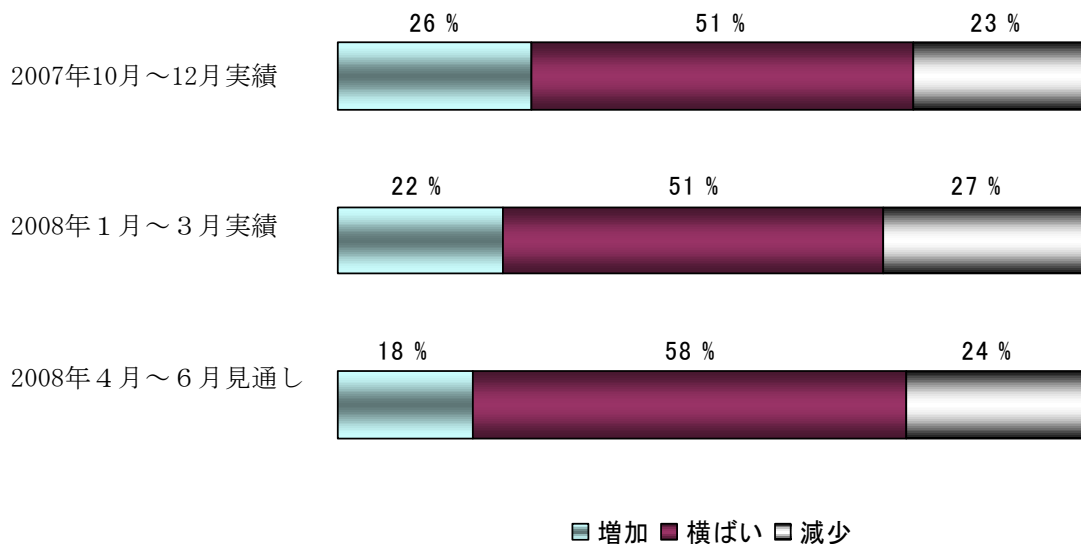
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	109	47.0
	織 維 ・ 衣 服	111	53	47.7
	木 材 ・ 家 具	96	45	46.9
	パ ル プ ・ 紙	107	53	49.5
	化学・プラスチック	238	125	52.5
	窯 業 ・ 土 石	102	50	49.0
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	99	50.5
	金 属 製 品	128	58	45.3
	一 般 機 械	222	103	46.4
	電 気 機 械	333	140	42.0
	輸 送 用 機 械	250	96	38.4
	精 密 機 械	67	28	41.8
	そ の 他	167	56	33.5
	計	2,249	1,015	45.1
卸 売 業	生 産 財	124	55	44.4
	消 費 財	127	51	40.2
	計	251	106	42.2
	合 計	2,500	1,121	44.8

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

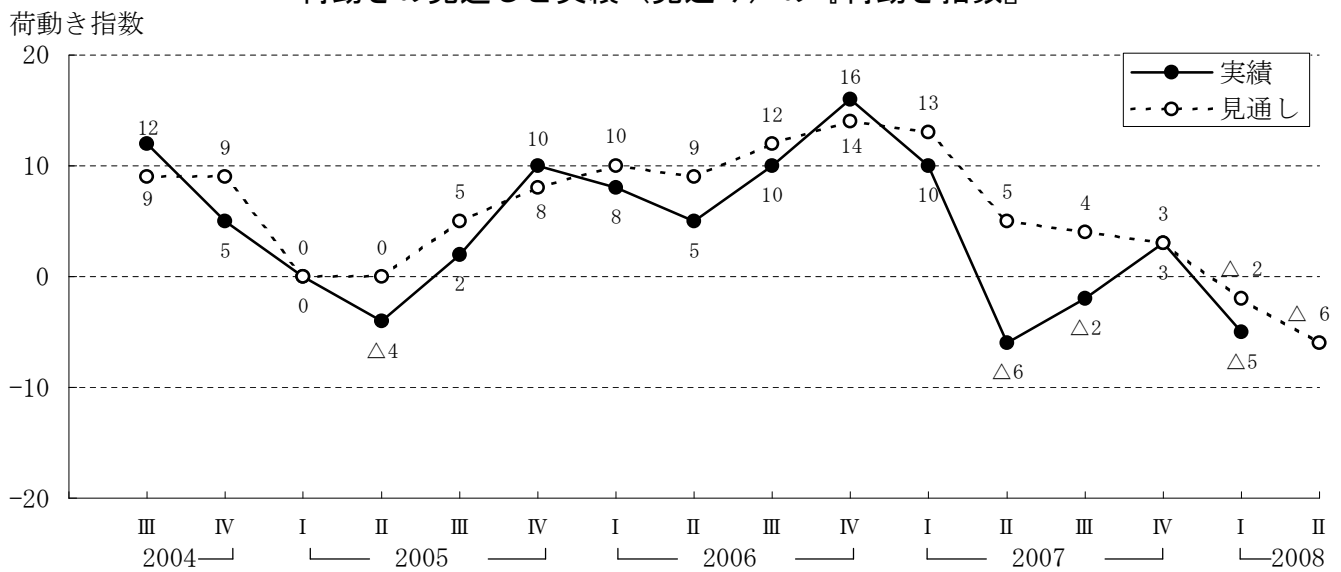
- 2008年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2007年10～12月）実績より4ポイント低下し22%となった。一方、「減少」との回答は前期より4ポイント増加し27%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は8ポイント減少して△5となった。
- 2008年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2008年1～3月）実績（見込み）よりさらに4ポイント低下し18%となり、「減少」との回答は3ポイント低下し24%になる。この結果『荷動き指数』は前期より1ポイント減少して△6と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



- 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2007年10～12月実績でいったんは『荷動き指数』が水面上に浮上したものの、2008年1～3月実績（見込み）では再び8ポイント低下して、△5まで落ち込んだ。2008年4～6月見通しでも改善の動きは窺えず、弱含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、荷動きは減退基調が続く見通しである。

荷動きの見通しと実績（見込み）の『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2008年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2008年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2008年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、プラス業種は食料品・飲料、輸送用機械など4業種のみで、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△5で、前期（2007年10～12月）実績からは8ポイントの低下となった。

■ 2008年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび消費財卸がプラスに反転する一方、一般機械およびその他の製造業がマイナスに沈むなど業種により明暗がみられるが、業種全体の『荷動き指数』は△6と弱含み横ばいで推移しよう。このため、荷動きは減退基調が続く見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2008年1月～3月実績					2008年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	107	34	51	15	19	107	21	66	13	8
	繊維・衣服	53	13	59	28	△15	53	9	65	26	△17
	木材・家具	45	16	53	31	△15	45	9	53	38	△29
	パルプ・紙	50	14	42	44	△30	50	14	68	18	△4
	化学・プラスチック	123	18	58	24	△6	123	20	63	17	3
	窯業・土石	48	15	52	33	△18	47	17	51	32	△15
	鉄鋼・非鉄	98	19	50	31	△12	98	15	61	24	△9
	金属製品	58	22	40	38	△16	58	22	52	26	△4
	一般機械	102	22	58	20	2	102	15	58	27	△12
	電気機械	138	26	45	29	△3	138	23	48	29	△6
	輸送用機械	94	34	46	20	14	93	30	46	24	6
	精密機械	27	15	48	37	△22	27	11	56	33	△22
その他	55	27	60	13	14	55	16	66	18	△2	
計	998	23	51	26	△3	996	19	57	24	△5	
卸売業	生産財	55	22	47	31	△9	53	11	64	25	△14
	消費財	50	16	54	30	△14	50	24	54	22	2
	計	105	19	51	30	△11	103	17	60	23	△6
合計	1,103	22	51	27	△5	1,099	18	58	24	△6	

■ 2008年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、東海が小幅なプラスで、九州・沖縄が水面上にとどまる以外は、残りすべての地域がマイナスとなった。とくに東北は2ケタのマイナスで、荷動きの減退圧力が強い。

■ 2008年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、九州・沖縄がやや好転するものの、東海は水面近くまで下降し、その他の地域も引き続きすべてマイナスを示す。とりわけ、北海道および北陸・甲信越は2ケタのマイナスで、荷動きの回復は期待できない。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2008年1月～3月実績					2008年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	50	20	54	26	△ 6	49	10	70	20	△ 10
東 北	93	19	50	31	△ 12	93	19	56	25	△ 6
関 東	268	25	45	30	△ 5	267	18	57	25	△ 7
北 陸 ・ 信 越	115	20	52	28	△ 8	115	15	57	28	△ 13
東 海	151	25	54	21	4	150	21	59	20	1
近 畿	167	23	48	29	△ 6	167	19	53	28	△ 9
中 国	108	20	59	21	△ 1	108	18	60	22	△ 4
四 国	70	17	57	26	△ 9	70	19	57	24	△ 5
九 州 ・ 沖 縄	81	23	55	22	1	80	23	59	18	5
合 計	1,103	22	51	27	△ 5	1,099	18	58	24	△ 6